

発達障害検査入院について

発達障害検査入院では、発達障害（自閉スペクトラム症や注意欠如・多動症など）に関する複数の検査や入院中の症状観察や診察などを通して、総合的に発達特性の把握を行います。

これらをもとに得られた診断名や特性、さらには今後の生活上の工夫点などについてご説明します。



検査の中に、ご本人を養育された方にご協力をお願いするものがあります。

入院は、当院の精神科の開放病棟をご利用いただきます。

入院期間はおおむね10日前後です。

検査等の結果のご説明について

ご本人へ

退院日に、検査結果に基づいて診断名や発達特性などについてご説明いたします。説明内容は、文書としてもお渡しいたします。同居のご家族など、検査結果説明と一緒に聞ききたい方がいらっしゃる場合には、前もってご相談ください。

通院中の主治医の先生へ

検査結果に基づく診断や特性および入院の経過などを報告書としてお送りします。また、ご本人にお渡しした説明文書も同封いたします。



よくあるご質問

どのような人が発達障害検査入院を利用できますか？

発達障害検査入院は、発達障害に関する複数の検査を受けること、およびその結果の説明を希望される方を対象としています。検査の実施に困難が見込まれる方や、養育者からご本人の幼少期のご様子をうかがうことが困難な方など、発達障害に関する判断をするための情報を十分に得ることができない方は、ご利用いただけないことがあります。

入院中にお薬の調整をしてもらえますか？
また、職場や学校に、必要な配慮についての説明をしてもらえますか？

検査を行うための入院なので、治療や介入は予定しておりません。退院後は原則として、元の医療機関で通院継続をしていただくこととなりますので、検査結果をもとに、現在通院中の主治医とご相談ください。

入院中に、病棟からの外出や自宅への外泊をしてもいいですか？

入院中の検査スケジュールなどに影響のない範囲であれば、制限はありません。ただし、感染症の流行状況などにより控えていただく必要があることもあります。

途中で検査をやめて退院したくなったらどうすればいいですか？

ご本人の意思で中断・退院は可能ですので、入院中の担当医にその旨お知らせください。この場合、終了している検査の結果については後日お伝えできますが、終了していないもののお渡しや診断などの総合的な判断はお伝えすることができませんので、ご了承ください。

対象者

- ・発達障害（自閉スペクトラム症や注意欠如・多動症など）に関する診断や特性について詳しい検査を受けることとその結果の説明を希望される方
- ・18歳以上で、入院および検査を受けることが可能な方

ご利用までの流れ

通院中の方は主治医に
検査入院の利用をご相談ください

当院へのご相談・お申込み

主治医に診療情報提供書の作成を
依頼してください

当院外来受診

検査入院の予約

検査入院の実施

注意事項

- 予約状況により、お申し込みから検査入院の実施までにお日にちをいただくことがあります。
- 病状やご相談内容によっては、発達障害検査入院のご利用をご遠慮いただくことがあります。

東大病院へのACCESS



- ## ■ 電車をご利用の方

東京メトロ 丸の内線：本郷三丁目駅
千代田線：湯島駅、根津駅
南北線：東大前駅
都営地下鉄大江戸線：本郷三丁目駅



東大病院 交通案内

- ## ■ バスをご利用の方

バス停：上野公園山下 6番のりばより
 <系統番号：学01(東大構内 行き)>乗車 → 東大病院前下車
 バス停：上野松坂屋前 4番のりばより
 <系統番号：学01(東大構内 行き)>乗車 → 東大病院前下車
 バス停：御茶ノ水駅前 5番のりばより
 <系統番号：学07(東大構内 行き)>乗車 → 東大病院前下車



東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO

ご相談
お申し込み
連絡先

東京大学医学部附属病院こころの発達診療部
〒113-8655 東京都文京区本郷 7-3-1
電話 03-3815-5411 (代)
発達障害検査入院 担当者

 THE UNIVERSITY OF TOKYO

発達障害
検査入院の
ごあんない

